

食農学類教員会議（第47回）議事要録

日時： 令和4年2月9日（水） 14時00分～15時20分

場所： 食農学類研究棟1階 みらいホール（WEB会議併用）

第45回及び第46回食農学類教員会議の議事要録について原案のとおり確認した。

【審議事項】

1. 発酵醸造研究所教員選考(特任助教候補者)について
生源寺選考委員長から、応募状況、選考経過等について説明があった。選考委員会による選考の結果、適任者2名を推薦する旨、提案があり、審議の結果、承認された。
2. 客員研究員の受け入れについて
松田教員（食品科学コース長）から、資料1-2に基づき、説明及び提案があり、了承された。
3. 食農学類非常勤講師計画基本方針（案）について
熊谷教務委員から、資料1-3に基づき、全学基本方針を受け、食農学類基本方針の策定経緯等の説明及び提案があり、了承された。
4. 特任研究員（地域連携推進室及び附属農場）の更新について
荒井評議員から、3名の研究員について、本学類での役割の再確認及び財源確保が確認されたため雇用を継続したい旨、提案があり、了承された。
5. 教員人事について
学類長から、大学院完成年度前に定年となる教員3氏について、2月2日開催の学類人事委員会にて大学院完成年度までの定年延長について審議し、了承を得た旨、報告があった。
引き続き、定年延長の必要性や大学院完成年度までの限定的措置等の詳細な説明の後、定年延長及び教育研究院会議への申請についての提案があり、特段の意見はなく、了承された。

【報告事項】

1. 運営会議（1/25、2/1）教育研究評議会（2/8）経営協議会（1/18）の報告について
学類長から、以下、報告があった。（資料は会議運営サイトを参照）
 - ・経営協議会では、大学の財政事業や大学院改革の定員減について議題になった旨、報告があった。
 - ・運営会議では、キャリアセンター設置に向けた協力要請や大学院改革についての検討状況についての報告があった。
 - ・教育研究評議会では、小野町との包括協定や大学院改革について検討状況についての報告があった。なお、食農学類からの要望について了承された旨、報告があった。
2. 危機対策本部会議の報告について
学類長から、飲食での人数制限や学生ガイドライン2022の作業状況について報告があった。
3. 令和4年度食農学類一般選抜における追試験について（資料：なし）

入試委員から、一般選抜（前期・後期日程）の追試験の日程及び合否判定基準について報告があった。また、志願状況について報告があった。

4. 英語科目の他学類向けクラスの開放について

篠田教務委員から、資料2-4に基づき、英語科目のクラス開放に至る経緯及び学修案内への記載について報告があり、確認された。

5. 令和4年度開講科目関係について

熊谷教務委員から、資料2-5に基づき、Cap 除外科目等及び単位互換除外科目について説明があり、確認された。

6. 実践教育委員会について

荒井評議員から、実践教育全体報告会として県内4つの高校からオンライン参加があった旨、また、今後の課題等について報告があった。次年度は、今年度の内容を継承する形で実施したい旨、報告があった。

7. 食農学類棟の入退室学生カードの利用ルールについて

河野財務・施設委員から、資料2-7に基づき、学生カードの配付方法及び入退室の運営上の注意点について報告があった。